

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成24年10月21日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670103904
法人名	有限会社 ドリーム・ミソノ
事業所名	グループホーム 紫原
所在地	鹿児島県鹿児島市紫原四丁目34番31号 (電話) 099-250-2643
自己評価作成日	平成24年9月19日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成24年10月14日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

近所に公園や学校、医療機関があり、恵まれた環境に建てられたホームであり、毎日、公園散歩に出かけ、近所の方々と日常的に交流、図れている。又、運営推進会議には、地域の様々な職種の方々に参加して頂き、地域との交流も図れている。

行事に関しては、年間行事を立て、外出や外食の機会を多く設け、入居者様全員参加にて、楽しい時間を過ごして頂いている。

ボランティアや、体験学習の受け入れについては、ヘルパー研修や小・中・高校生等、幅広く受け入れており、入居者様も色々な方と交流でき刺激となり、喜んでおられる。

安易におむつを使用せず、トイレでの排泄が出来る様、一人一人の排泄パターンを確認し、その人に合わせた誘導を行い、自立支援に向け取り組んでいる。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・事業所内に看護師・介護福祉士等の有資格者が多く配置されているので、勉強会やサービス向上に向けての各委員会活動が積極的に行われている。これらの活動により、利用者の充実した生活に向けての取り組みが行われ、よりよいサービスが提供できるように努めている。
- ・町内会行事への参加や託児所・幼稚園との交流、小・中・高校生の職場体験等や実習生の受け入れ、地域住民の福祉相談にのる等、地域との交流を積極的に行っている。
- ・運営推進会議をホームの行事の後に実施するなど工夫しており、家族の出席者も多く、地域からも町内会長や交番の警察官等が出席し、協力者として助言を得ながら、地域の理解を得る取り組みをしている。
- ・協力医療機関が近隣にあり、定期的に往診や緊急時の対応がなされている。歯科医や皮膚科医の往診もあり、薬の管理も病院の薬剤師が協力している。事業所と協力医療機関との連携も密である。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎朝、申し送り後、理念を唱和、地域の子供達の職場体験学習の受け入れや口腔ケア教室を行う等、毎日の支援の場面で理念と実践が結び付くよう取り組んでいる。	理念は事業所内に掲示し、パンフレットにも載せている。毎朝の申し送り時に唱和し、月1回のミーティング等で理念について確認し、職員はよりよいサービスが提供できるように努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入し、地域の文化祭・幼稚園の運動会等、利用者と一緒に参加し、地域の方々と交流を図っている。	町内会に加入し、地域の夏祭りや文化祭等に参加し、ホームの行事に近隣住民の来所がある。託児所や幼稚園との交流、小・中・高校生の職場体験や実習生も受け入れている。また、地域住民の福祉相談にのるなど、日常的に地域と親しく交流を行っている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	認知症の家族を抱える地域の方々の相談を受けたり、見学に見える方々にグループホームの事だけでなく、介護保険についての説明もしている。人材育成の貢献として、実習生の受け入れも積極的に行っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	利用者家族・民生員・地域の市議・衆議員等と交え、利用者の状況やサービス内容を報告し、又、評価結果を配布し、ご意見を頂いている。	家族や町内会長・民生委員・交番の警察官・地域包括支援センター担当者等が出席し開催している。活動内容等や外部評価の結果についても報告し、意見交換を行いサービスの質の向上に反映させている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者とは日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。</p>	<p>運営推進会議等・地域包括支援センターに案内状を差し上げ、行き来する機会を作り、入居者様・家族への情報提供に努め意見交換の場を設けている。</p>	<p>運営推進会議に地域包括支援センター担当者が出席するほか、必要に応じて市担当課へ電話等で相談や情報交換を行っており、関係づくりを心がけている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束マニュアルを元に月一回、拘束委員会を開催して取り組んでいる。利用者一人ひとりの状態を把握しながら、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束をしないケアについて、身体拘束廃止委員会を月に1回開催している。委員会では、支援内容を確認し、マニュアルを基に勉強会を実施している。職員の共通認識を図り、身体拘束をしないケアに取り組んでおり、日中は玄関の施錠はせずに、自由な暮らしを支援している。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>ミーティングで勉強会をし、職員も何が虐待にあたるかを勉強している。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>外部研修に積極的に参加して、その内容を職員全員で勉強会を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約を結ぶ際は、時間をかけて契約書や重要事項説明書にそって、ゆっくり説明し、質問や疑問点には丁寧に答えている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>ホーム内での行事の度に家族を招き、行事の終了後に運営推進会議を開き、市議・県議・民生員・薬剤師等出席してもらい、入居者・家族らの相談・意見を頂き話し合いをしている。</p>	<p>利用者からは、日頃の生活の中で意見や要望を聞いている。家族からは、運営推進会議や家族会・面会時を活用する等して、要望や意見を聴取している。要望等については、職員で話し合い、文書にて回答している。必要に応じて、運営推進会議にも報告して運営に反映している。意見箱も設置している。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>朝のミーティングと月一回のミーティング時に職員の意見を聞いたり、出席者全員で意見の交換している。</p>	<p>代表者は、ミーティング等で職員の要望を聞いている。管理者も毎月のミーティングや日常の申し送り時等に、職員からの運営に関する意見や要望等を聞き、コミュニケーションをとるよう心がけている。勤務希望についても配慮している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>年2回の健康診断を実施し、職員の心身の健康管理に努め、又、職員の資格取得には、給与が上がる事や、試験対策研修へは積極的に出席するよう声をかけている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>毎月、1回以上の事務所内研修と、事務所外で行われる研修には、なるべく多くの職員が参加できるように声掛けして、又、研修報告をミーティングで発表してもらっている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>谷山地区研修会に月1回参加して、背後で抱えている問題や、固執事例等をあげ、他事業所との意見交換をしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に直接本人と面談し、本人が困っている事、不安な事をゆっくり聞く機会を設けている。本人が安心して入居できるよう、要望にも出来る限り応えるよう心掛けている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前面談時に困っている事、不安な事、要望等をお聞きし、電話でも連絡を取り、気軽に話せる関係作りに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人・ご家族との話し合いの中で、ご本人のADL状態等に合った車椅子やベッド、オムツ注文等、他のサービス利用も含めた対応に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日々の生活の中で、ケアするだけでなく、家事や掃除も一緒に参加してもらい、喜びや達成感を協働し、活気ある生活が送られるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	電話や面会時に近況報告を行い、気軽に話せる環境作りを日頃より心掛けている。又、月初めには担当者より、月毎のコメントをお手紙として送封しており、本人を支えていく関係を築いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	手紙や電話があった時には、本人におつなぎし、馴染みの人の面会がある時は、何時でも面会できるような環境作りを心掛けている。行きつけの理容店がある方には、継続して利用できるよう支援している。	知人の訪問や利用者の馴染みの美容院や理容店へ出かけたり、友人に会いに行くための支援等、馴染みの人や場所との関係が継続できるように支援している。墓参りや自宅への外出についても、希望に添えるように支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	その時々々の心身状態を見極め、孤立する方がいないよう、職員が間に入ったり、共通の話題の提供を行い、円満な生活が送れるように努めている。お互いに助け合ったり、いたわりあう光景も見られる。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス利用が終了しても、その後の過程を電話等でお聞きし、相談にのったり、必要に応じてアドバイスか他サービスを紹介している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	普段の生活の中から、思いや暮らし方の希望や意向を聞いたり、困難な場合は、表情や動作から読み取ったり、家族から聞いたりして、把握に努めている。	利用者から、日々のふれあいの中で思いや意向の把握に努めている。意志疎通が困難な利用者には、表情や仕草から読み取るようにしている。また、家族からは、入居時や面会時等に情報を得ており、本人の意思を尊重した生活ができるように、職員が情報を共有して支援をしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人との会話より、これまでの暮らしを把握したり、家族や関係者からの情報収集に努めている。又、馴染みのある物・思入れの深い物（タンス・仏壇）等を持ってきて置いている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人一人の生活リズムを把握し、関わり合いの中から、出来る事の現状を理解し、維持・向上できるよう努めている。個別の記録・バイタルチェックを行い、体調の悪い時には、その度にバイタルチェックを行い、医師へ報告している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	家族の面会時に、サービス担当者会議を開催し、本人・家族・ケアの担当者等で意見・要望を話し合い、本人の現状に即した介護計画を作成している。	モニタリングは毎月実施し、利用者や家族の意見を聞き毎日の暮らしぶりをもとに、ミーティング等で検討している。職員全員で話し合い、利用者一人ひとりについて、現状に即したプランになるように作成している。介護計画の見直しは6ヶ月毎であるが、状態が変化した場合は随時見直している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別に日勤帯・夜勤帯で、日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を記入し、朝と夕方の2回の申し送りの時間を設けて情報共有し、実践や介護計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	出来る限り、その時のニーズに対応し、訪問ヘリハビリや訪問歯科・フットケア等を取り入れ、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	運営推進会議の開催や、地域の行事参加・消防署の避難訓練実施にて、安全で豊かな暮らしを楽しむ事が出来るよう努めている。近所の人に入居者さんの顔を覚えて頂き、迷子になった時等知らせて頂いている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人・家族が希望するかかりつけ医を受診してもらい、必要時は往診依頼をしたり医療機関と連携を図りながら、適切な医療が受けられるように支援している。	かかりつけ医への受診の支援を行っている。協力医療機関が近くにあり、月2回の往診がある。また、緊急時や歯科・皮膚科の往診もあり、医療機関との連携ができています。看護師も配置しており、通院は職員が対応している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>看護師が常勤で在中しており、利用者の細やかな変化はすぐに報告し、変化に応じた支援を行えるよう努めている。又、協力病院の医師との連携で適切な医療が受けられるようにしている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院の際には、なるべく混乱が生じぬよう、普段の状況や特徴を伝え、入院時にスタッフがお見舞いに伺い、本人・家族・病院関係者との情報交換を行っている。退院後も往診や通院が必要時、家族・病院と連携し支援を行っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>家族会で重度化した場合や、終末期のあり方について、話し合いの場を設けている。又、ホームで出来る事をミーティングなどで協議し、主治医に相談や、協力ももらい、本人・家族等と方向性を共有できるように取り組んでいる。</p>	<p>入居時に、事業所の方針として「重度化や終末期における介護指針」を説明し、家族会でも終末期のあり方について話し合いの場を設けている。事業所のできることを職員と話し合い、主治医と連携して家族と方向性を共有できるように取り組んでいる。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>マニュアル作成を行い、ミーティング等で勉強会をしている。又、緊急連絡網を作成し、連絡体制の迅速化にも努めている。年に一度、救急隊員による応急手当の講習等、出来るだけ職員全員で参加している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年二回、日勤帯・夜勤帯想定し、出来る限り全員参加にて、避難訓練を行っている。近所の家々に訓練実施のお知らせを配布している。防災グッズも常備し、災害に備えている。</p>	<p>避難訓練は年2回昼夜間を想定して実施し、近隣住民の参加もある。消火器の使用訓練、消防設備の定期点検も行っている。防災グッズを常備し、非常用の食料・水も備蓄している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	基本的には敬語を使用し、方言が馴染みがある方は方言を使い、利用者様との信頼関係の中で、画一的な声掛けにならぬよう工夫している。又、常に笑顔で対応するよう工夫している。	人格の尊重とプライバシーの確保については、毎月の勉強会や内部の4つの委員会で話し合っている。特に、利用者に対する言葉使い等を、職員がお互いに確認し合い、信頼関係を大事にした支援を心がけている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	一人一人の利用者の方に合わせて、対応・説明を行い、受動的な態度で、意思疎通を持つ努力を行っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者様へのケアの方向性の統一に力を尽くし、ご意志・ペースを尊重する声掛け、対応に日々努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	地域美容師の方に継続的に来ていただき、カットのみではなく、その方の好みでカラーやパーマをかけてもらい、おしゃれを楽しんでもらっている。又、本人の好む衣類を本人の希望に合わせて支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	洋食が好きな方、和食が好きな方、それぞれの嗜好を考慮し、週刊でメニューを決めている。又、毎日のメニューは話し合っで決め、野菜の皮むきや配膳等、利用者にお手伝いをもらい一緒に準備している。	利用者の好みを聞き献立を作成し、包丁を上手に使う利用者や下ごしらえや配膳など、できる範囲で職員と一緒に、職員と利用者が、同じテーブルを囲んで楽しく食事ができる支援をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎食時の食事量や水分量を毎回記録し、一人一人の状態を把握し、少ない方へは声掛けを行い、嚥下の悪い方・水分摂取しにくい方は、本人に合わせてロミ等を使用し、摂取量が維持できるように努めている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、一人一人、口腔ケアの声掛けを行い、見守り・介助が必要な方は介助を行い、口腔ケアを行っている。又、訪問歯科を利用されている方や、定期的な口腔教室もホームにて開催され、スタッフも一緒に勉強している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表の活用にて、排泄パターンを把握し、時間毎で誘導を行っている。尿意が無い方でもトイレ誘導を行い、トイレでの排尿促しており、自立支援に努めている。	排泄チェック表を作成し、利用者一人ひとりの排泄パターンを把握している。全介助の人でも適時に声かけを行い、トイレ誘導をしておむつをしないで済むように、排泄の自立に向けた支援を行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	10時のお茶は、ホームで手作りのヨーグルトを、毎日、召し上がって頂き、便秘予防に取り組んでいる。又、公園散歩にて運動への働きかけも行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している</p>	<p>入浴日は、平等に入浴できるように、曜日を決めてはいるが、順番はその日に決めている。又、入浴日以外でも、汗をかいたり、本人が入りたくない日は、次の日に振り替えたり、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>入浴は週に3回のペースであり、入浴する時間等も利用者の希望を尊重している。気の合う人と一緒に入ることもあり、入浴剤など要望により使用しており、気持ちよく入浴できるように支援している。</p>	
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>日中・夜間の本人の状態を見て、急速・午睡してもらっている。就寝に向けて、気持ちが落ち着けるようホットミルク等、暖かい飲み物を提供している。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>薬局の居宅管理指導を受けており、処方がある都度、薬剤師から用法や用量について、細かめに説明を受けており、病状の変化等、密に報告できる体制である。病状の変化については記録を行い、申し送り等でスタッフ間の情報共有に努めている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>茶碗洗い・野菜の皮むき等の台所仕事、モップ掛け、洗濯物干し・たたみ、花壇の手入れ等、一人一人に合った、役割や楽しみ・やりがいを感じるよう支援している。又、月々の行事や散歩、カラオケ、家族との外出・外泊も働きかけている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>年間行事計画をたて、地域の方と交流したり、外食したり、お弁当を持って戸外に出かけたりし、季節を感じたり、気分転換・意欲の活性化に努めている。又、家族に面会や外出・外泊を働きかけている。</p>	<p>天気のよい日は近くの公園を散歩したり、買い物に行ったりと日常的に外出支援を行っている。年間行事の中で、地域の方との交流や外食を実施しており、利用者からの外出希望にもできるだけ応えられるように支援している。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>お金の管理の出来る方は、外出時等、自分で払って、買い物をして頂いている。買い物の際、預り金の中から支払いをして頂いている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>必要に応じて電話をかけたり、通話の取り次ぎ等、何時でも対応している。又、家族の方にも、電話をして下さるよう、頼んだりもしている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>玄関には、季節の花を活け、季節の物を飾っている。ホールには、ひな人形等を飾り、昔話に花を咲かせたり、歌を唄ったりしている。</p>	<p>ホールはゆったりとしており、利用者の書道作品や行事の写真等が展示されており、季節感を大事にした飾り付けがされている。廊下は広く、トイレのライトがセンサー式等、生活しやすい工夫がなされている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ホールや玄関に、ソファや椅子を置いて、テレビや雑誌・新聞を読んだりして、思い思いに過ごせるよう、居場所の工夫をしている。</p>			
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>各居室には、使い慣れた馴染みの物（家具や写真）が置いてあり、居心地良く過ごせるよう工夫している。</p>	<p>居室は、洋室で部屋にベッドや整理タンス・洗面台を設置している。居室には、テレビや冷蔵庫、本人の使い慣れた家具や写真・仏壇等もあり、利用者が居心地よく暮らせるように配慮している。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>居室の入り口には、表札をかけたたり、野菜で自分の部屋が分かるようにしたり、トイレには、大きくトイレ表示をし、認識できるようにしている。必要時センサーを使用している。</p>			

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない